

## まちづくり会社が運営する「安全で安心な、おいしい直売所」

山梨県北杜市に位置する小淵沢駅前商店街では、旧小淵沢町、小淵沢商工会、地元有志で結成された有限会社まちづくり小淵沢が農産物直売所「ショップまちこぶ」を出店。近隣の農家から新鮮な野菜を仕入れて販売しているほか、安全に気を使って仕入れた加工品の販売も行っている。

この取組では、ただ直売所を開設するのみではなく、地域住民も参画しているまちづくり団体によって地域住民への安全で安心な商品の提供を目指している点など、学ぶべきところが多くある。

### Ⅰ 山梨県北杜市

総人口：49,273（人）  
世帯数：19,947（世帯）  
総面積：602.89（km<sup>2</sup>）  
人口密度：81.7（人/km<sup>2</sup>）  
（平成22年3月1日現在）

JR 小淵沢駅の南に平行して伸びている商店街。

個人営業の中小規模の店が多く、近隣の長坂や富士見町に大規模店舗が数多く出店していることもあり、来客数の増加に向け、様々な取組を行っている。



### 背景ときっかけ

ショップまちこぶの運営者である「有限会社まちづくり小淵沢」の誕生は平成12年に遡る。当時の小淵沢町が策定した「小淵沢町中心市街地活性化基本計画」実現のための団体として、小淵沢町商工会の公募によって「まちづくりパークショップ」が誕生。小淵沢でのまちづくり活動を続け、TMO認定（※1）を受けた後は、小淵沢地域全体を対象としたまちづくりをするために、広く住民の資本参加を募り、平成18年に小淵沢町、小淵沢町商工会、町内外の出資者によって（有）まちづくり小淵沢が設立された。

小淵沢地区の地域活性化に取り組む同団体では、小淵沢駅前商店街と地域内の生産者、消費者を結ぶことを目的に、同商店街内の空き店舗を活用して地場産の農産物等を販売する「ショップまちこぶ」を開店させることとなった。

（※1）：TMOは、タウンマネージメントの略で、中心市街地の活性化に向けてまちづくりを運営すること。TMO認定は、旧中心市街地活性化法において、中心市街地のまちづくりを運営する組織して認定されたことの意。

### 取組内容

有限会社まちづくり小淵沢では、小淵沢駅前商店街内の元は家具店で3年前から空き店舗になっていた場所を改装、「ショップまちこぶ」をオープンさせた。ショップまちこぶでは「安全・安心・おいしい」と「地産地消」を理念として、旧小淵沢町の農家から持ち込まれた新鮮な農産物の販売を始めた。

しかし、周辺にも無人販売所や道の駅があることから、仕入先を北杜市内農家に広げ、販売形式も委託販売と買取販売の併用とし、地域内外の加工品の取扱いも始めた。一方、全国から化学調味料等の添加物を使わない商品を厳選して、安全、安心、おいしい食料品の販売も行っている。

名称：ショップまちこぶ（平成19年4月開設）

所在地：山梨県北杜市小淵沢町1039-6

面積：約11.5坪

販売品：北杜市の農家から毎朝届けられる新鮮な野菜、地元農家手作りの農産物加工品、米、果物など  
その他全国から商品を仕入れるほか、調味料等も扱っている

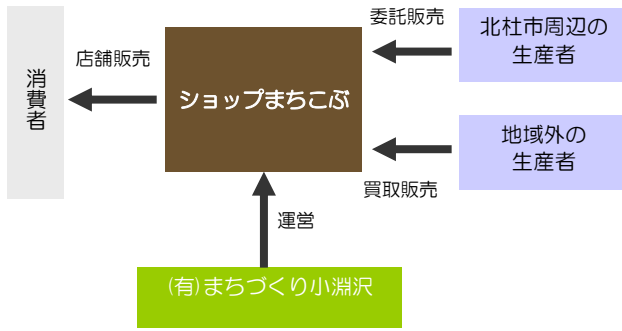
販売方法：農産物は委託販売（手数料15%）または買取販売

営業時間：[10～3月] 午前10時から午後5時30分（定休日 毎週木曜日）  
[4～9月] 午前10時から午後6時（無休）

販売員：店長とスタッフ6名（常時1名）



## 事業の仕組み



- ※農産物は生産者が持ち込むかたちを基本とし、バーコードによる管理を行っている。
- ※まちづくり小淵沢は、駅周辺施設（観光案内所・駐車場等）の指定管理事業と独自事業により、補助金なしの自立経営を行っている



## 取組上の工夫

- 「安全・安心・おいしい」の理念を重視しており、農産物は原則として毎朝農家が採れたてのものを直接持ち込んでいるほか、加工品も化学調味料、保存料などの添加物を使用していないものを仕入れているため、他の店舗との差別化が図れている。
- 全国から買い取った商品は「～フェア」といった形で販売することでPR効果を高めているほか、売れ筋を見て通常販売の商品構成の参考にしている。
- 店内に誰でも利用できるコミュニケーションボードを有料で設置し、来店者同士での情報交換や物品の売り買いのサポート、コミュニケーションの場を提供している。収益金は地域の活動へ寄付している。



ショップまちこび（店内）



ショップまちこび（店内）



## 取組効果

- 開店後3年間を経て地元に着、住民にとってなくてはならない店舗としての立場を確立しつつある。スタッフは地元の主婦を雇用し、地域の交流・活性化の場として機能している。
- スタッフが地元の野菜や加工品を厳選し、地元食材を中心としつつも、全国の良い商品を取り寄せており、周辺の農産物直売所との差別化が図られてきた。
- 新聞等に取り上げられたことでのPR効果があり、これまで訪れることがなかった人が同商店街に足を運ぶようになった。特に、小淵沢駅から商店街の中間に位置する店舗までの誘引に貢献している。



## 今後の展望

- 店単独の経済的自立を目指して、引き続き様々な取組を行っていく。
- 地元の生産者と地域一般住民をつなげる店として、地元生産者とのネットワークを広げ、安全・安心で質の高い地元産の農産物や加工品を数多く提供していきたい。
- 商店街において、生産者の方、地域の方、観光客の方たちとの会話が弾むコミュニケーションの場として継続・発展させたい。



ショップまちこび（外観）



店内の商品